

やしお市議会だより



QRコードから市議会ホームページにアクセスできます!



市の木「いちよう」

主な記事

●定例会レポート

令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要、討論、第3回定例会請願・議案処理結果一覧表……………2～3

●一般質問・意見書・議案

「つくばエクスプレスの利便性の向上について」、「防災・減災について」、「市民の憩いの場、交流の場である公園等について」などの一般質問、請願、意見書ほか……………4～7

●委員会のうごき

委員会のうごき、常任委員会等の新構成など……………7～8

令和5年11月 NOVEMBER.2023 NO.114

令和5年第3回定例会報告号



草加八潮消防組合議会議員選挙投票のようす(9月21日)
※選挙投票のため、執行部職員の一部が退席しています。

新しい議長が決まる

議長 福野 未知留 議員

福野議長

議長 就任のあいさつ

市民の皆様には、平素より市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、去る9月定例会におきまして、多数の議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。

職責の重要性を認識し、二元代表制の一翼を担う市議会として、市民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、市民福祉の向上のために、全力で取り組んでまいります。

今後とも、市民の皆様におかれましては、市議会に対し、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

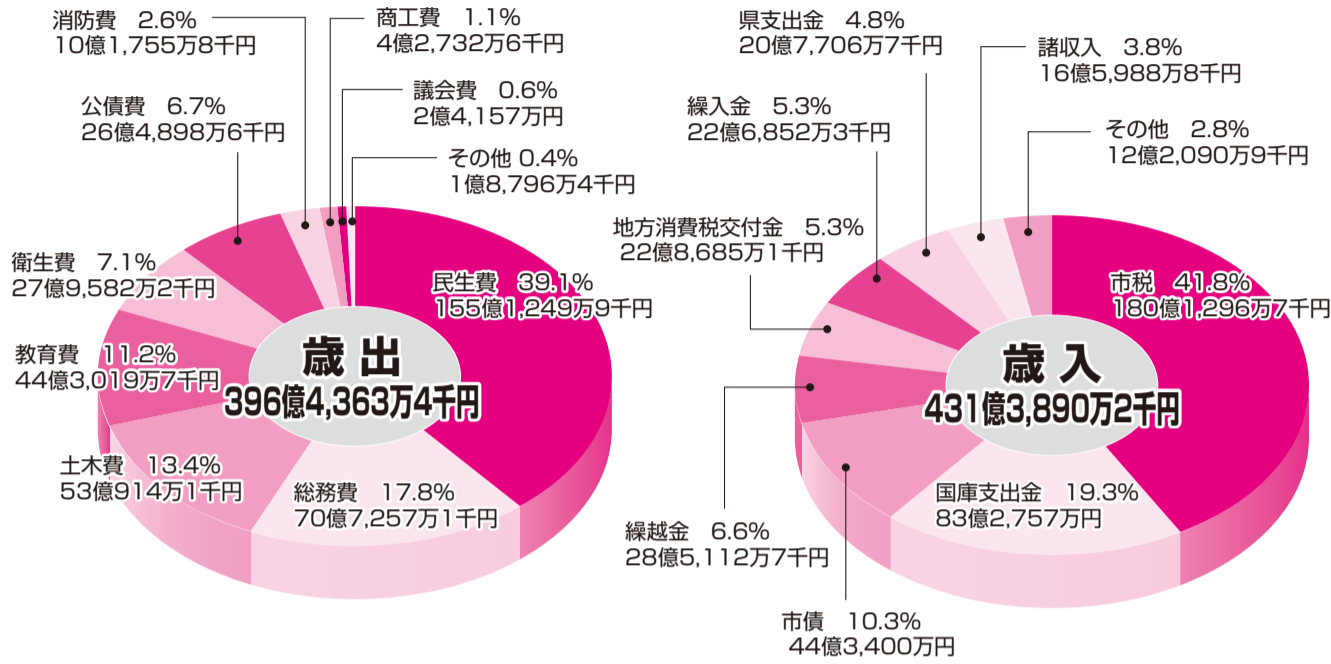
第3回定例会の概要

令和5年第3回定例会(9月1日～21日)を開催しました。

定例会では、「令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について」など決算関係11議案、「令和5年度八潮市一般会計補正予算(第5号)」など補正予算関係11議案、その他「工事請負契約の締結について」など11議案、あわせて33議案を可決しました。

また、最終日には、「介護報酬のプラス改定を求める意見書」を国に提出することを求める請願」を採択し、委員会および議員提出議案5議案を原案のとおり可決し、更に議長の辞職に伴い議長選挙を行いました。

令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要



令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の歳入総額は、431億3890万2千円、歳出総額は396億4363万4千円で、歳入歳出差引額は、34億9526万8千円でした。また、歳入歳出差引額から、翌年度への繰越財源3億7897万8千円を差引いた実質収支額は、31億1622万9千円で、単年度収支額は、4億5375万8千円でした。なお、令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要については次のとおりです。

討 論

反対討論(日本共産党)

令和4年度一般会計決算の認定について反対の討論をします。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対応やロシアのウクライナ侵攻に端を発する原材料供給網の混乱、さらには、消費者物価の繰り返しの値上げ等々により、市民生活は厳しさを増した年度と言えます。実質賃金はマイナス傾向を脱していませんとされています。令和4年度一般会計決算は、実質収支で31億1622万9千円の黒字決算であります。財政調整基金残高は、近年ずっと上昇が続いていることから、歳入の面から言えることは、より健全性が増しつつあるということとです。大規模な事業も予想されると思いますが、市民のくらし応援を、よりすすめていくことが求められるものと考えます。いくつかの事業に対し、見解を述べます。まず、国民健康保険への財政支援についてです。同会計に対する財政支援・赤字補填については、国保の広域化にあたり不適切な支援とされていますが、本市の国保税がいつになっても最高水準から脱しないままとなっていることから、国保税引き下げの政策課題対応として、この回避に努めるべきと考えます。さらには、子どもにかかる均

等割額引き下げについても検討すべきです。

賛成討論(自民クラブ)

次に、子ども医療費助成制度の拡大に踏み出すべきです。この間、未就学児童に係る国保税均等割の減額等の引き下げが行われてきました。また、一般質問でも紹介したように埼玉県も来年度以降、対象年齢の引き上げに言及するなどしています。さらには、県内では、18歳への助成制度拡大自治体が増えていくとの紹介がありました。このことから、早期の具体化を求めます。住まい確保の課題です。60歳以上の高齢者が入居できる高齢者優良賃貸住宅家賃助成事業が縮小されました。少なくとも最低限の経過措置は講ずべきと述べてきましたが残念なことと言わなければなりません。入居者は全員が非課税者、そのほとんどが独り暮らしの高齢者であります。安心して暮らすことができるよう見直しを求めます。住宅改修資金補助金制度についてです。令和4年度は、962万円とされましたが、大変歓迎されている事業と言えます。本年、令和5年度も、開始以来2か月余で予算額に到達し、終了となりました。追加補正と同時に対象工事の拡充や複数回助成の検討を求めます。先ほど言及しましたように、本市の歳入環境は、人口の増加や景気の回復基調等によってプラス傾向にあります。市民要望により応える立場からの市政運営を求め討論とします。

次に、商工関係では、緊急経済対策として、「八潮市プレミアム付商品券」を発行する八潮市商工会に対し、全面的な支援をするため補助金を交付しました。また、燃料価格の高騰により、特に大きな影響を受ける運送事業者に対し、その影響を緩和し、事業継続を支援するための補助金として「八潮市運輸事業継続支援事業補助金」が支給されました。これらの支援をすることで、コロナ禍により様々な影響を受ける市民や事業者の負担軽減が図られています。次に、都市基盤関係では、「(仮称)外環八潮スマートインターチェンジ」については、国土交通大臣より、高速自動車国道と八潮市道との連結が許可され、新規事業化が決定されました。また、地域の洪水に対する安全・安心を確保するため、浮塚排水機場ポンプ設備等更新工事が実施されました。次に、教育関係では、「八潮市学校適正配置指針・計画」に基づき、新設小学校の建設に向け、小学校予定地を購入するとともに、八潮市新設小学校建設基本設計が完了されました。結びに、今後も大変厳しい財政状況が予測されますが、持続可能な「住みやすさナンバーワン」のまち「八潮」の実現を目指し、市民ニーズを的確に捉え、限られた財源の効率的かつ効果的な執行を期待いたします。令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について、賛成の意を表し、討論といたします。



議案の処理結果

令和5年第3回定例会

● 請願の処理結果一覧表

※総文…総務文教、建水…建設水道、福環…福祉環境の略

議案番号	件名	付託委員会	議決結果	自民	みらい	公明	声は	共産	市民
請願第3号	「介護報酬のプラス改定を求める意見書」を国に提出することを求める請願	福環	採択	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○

● 市長提出議案処理結果一覧表

議案番号	件名	付託委員会	議決結果	自民	みらい	公明	声は	共産	市民
議案第71号	令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について	総文・建水・福環	原案認定	○	○	○3 欠1	○	×2 欠1	○
議案第72号	令和4年度八潮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	福環	〃	○	○	○3 欠1	○	×2 欠1	○
議案第73号	令和4年度稲荷伊草第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建水	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第74号	令和4年度鶴ヶ首根・二丁目土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第75号	令和4年度大瀬古新田土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第76号	令和4年度西袋上馬場土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第77号	令和4年度八潮南部東一体型特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第78号	令和4年度八潮市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	福環	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第79号	令和4年度八潮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	×2 欠1	○
議案第80号	令和4年度八潮市上水道事業決算の認定について	建水	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第81号	令和4年度八潮市公共下水道事業決算の認定について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第82号	令和5年度八潮市一般会計補正予算(第5号)	総文・建水・福環	原案可決	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第83号	令和5年度八潮市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	福環	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第84号	令和5年度稲荷伊草第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	建水	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第85号	令和5年度鶴ヶ首根・二丁目土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第86号	令和5年度大瀬古新田土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第87号	令和5年度西袋上馬場土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第88号	令和5年度八潮南部東一体型特定土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第89号	令和5年度八潮市介護保険特別会計補正予算(第1号)	福環	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第90号	令和5年度八潮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第91号	令和5年度八潮市上水道事業会計補正予算(第1号)	建水	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第92号	八潮市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	総文	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第93号	八潮市立保健センター設置及び管理条例及び八潮市立休日診療所設置及び管理条例の一部を改正する条例について	福環	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第94号	工事請負契約の締結について	総文	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第95号	工事請負契約の締結について	建水	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第96号	物品購入契約の締結について	総文	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第97号	物品購入契約の締結について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第98号	物品購入契約の締結について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第99号	人権擁護委員の推薦について	付託省略	原案同意	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第100号	令和5年度八潮市一般会計補正予算(第6号)	〃	原案可決	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第101号	工事請負契約の変更契約の締結について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第102号	工事請負契約の変更契約の締結について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議案第103号	工事請負契約の変更契約の締結について	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○

● 委員会・議員提出議案処理結果一覧表

議案番号	件名	付託委員会	議決結果	自民	みらい	公明	声は	共産	市民
議第11号議案	介護報酬のプラス改定を求める意見書	付託省略	原案可決	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議第12号議案	オウム真理教(アレフ)に対する観察処分期間の更新等を求める意見書	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議第13号議案	脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコミー(循環型経済)の推進を求める意見書	〃	〃	○	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○
議第14号議案	「インボイス制度」の実施中止を求める意見書	〃	原案否決	×	×	×3 欠1	○3 ×1	○2 欠1	×
議第15号議案	「健康保険証の一律廃止」の撤回を求める意見書	〃	原案可決	×	○	×3 欠1	○	○2 欠1	○
議第16号議案	刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書	〃	〃	×	○	○3 欠1	○	○2 欠1	○

※自民…自民クラブ、みらい…みらい会議840、公明…公明党、声は…声は力・維新・立憲・ファイトの会、共産…日本共産党、市民…市民と市政をつなぐ会
○は賛成、×は反対、欠は欠席。

一般質問から

令和5年第3回定例会の一般質問は、9月15日・19日・20日の3日間にわたり、16人の議員が48項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介いたします。

なお、詳しくは11月下旬に更新予定の八潮市議会ホームページをご覧ください。



※議員名の上の番号は、議席番号を示しています。

本市の公立小中学校での事故対応について

Q 令和2年12月23日に大原中学校で起こった事故対応について伺います。①学校から教育委員会への事故速報は電話・FAX・メールなど、どのように報告し、その提出の客観的な証拠について②文科省の学校事故対応の指針には、死亡事故及び治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う場合等重篤な事故について、すみやかに基本調査の実施とある。通院入院手術と教育委員会を通ず災害共済給付状況から明らかで、条件を満たすと考えるが、基本調査実施について③教育委員会定例会では事故・不審者・家出

12番 大泉 芳行

A 報告もある中、当時この事故報告がない、件数にもカウントされていないがその理由を伺う。①事故速報は当時の学校長が教育委員会に持参しました。持参し提出記録として残らない場合もあります。②この事故直後には状況から重篤な事故とは認定できず、結果として30日以上となった場合で基本調査は実施していません。③事故速報を受け定例会に事故報告を行います。個人情報保護等の観点から総合的に判断して報告を行わない場合もあります。

つくばエクスプレスの利便性の向上について

Q 八潮駅の1日の平均乗車人員数は、約2万4700人で秋葉原駅・北千住駅・流山おおたかの森駅・南流山駅に次ぎ、沿線で5番目の乗降客数となっています。また、8両編成化事業に関して、東京都内の地下駅4駅のホーム延伸工事が完了し、現在、青井駅・六町駅での工事が進められています。そこで、混雑緩和対策として八潮駅での快速列車の停車と、8両編成化に伴う八潮駅の工事について、伺います。

14番 金子 壮一

A 八潮駅への快速列車の停車については、八潮駅を利用する方の利便性の向上を目指し、以前から市長と議長の連名で首都圏新都市鉄道に対し要望しているところです。また、1編成8両化については、混雑緩和対策として、快速列車の停車と合わせて、以前から首都圏新都市鉄道に対し要望しているところです。8両編成化に伴う八潮駅の工事については、現時点で未着手であることから、今後も引き続き、1編成8両化の早期実現を首都圏新都市鉄道へ要望してまいります。

学校開放について

Q 学校体育館への空調設備の設置が進んでいます。学校開放にあたって同設備の利用の要望も寄せられているとのことですが、その検討状況についてお聞きします。

17番 鹿野 泰司

A 学校施設開放事業は、小中学校の体育館などの施設を学校教育に支障のない範囲で広く市民に開放し、スポーツ・レクリエーション活動等、開かれた学校づくりを推進する事業です。学校体育館空調設備の設置状況について、設置済みは4校ですが、令和7年度を目標にすべ

ての小中学校に設置をする計画となっております。また、利用検討状況については、現時点では利用の許可をしていない状況です。しかしながら、近年の真夏の猛暑の利用に際し熱中症などの発症の危険性もあることから、使用料の徴収なども含め、学校開放事業における空調設備の使用については、調査、検討してまいります。

文化庁より国の登録文化財申請事務の内諾のあった旧潮止揚水機場について

Q 市民側の訴えは棄却されたが、事件自体が監査請求期間を過ぎていた為、裁判では形式上の判断しかされず、監査請求が間に合っていたか否かが主な判断となっている。ゆえに裁判所に提出した、揚水機場の存続を望んだ専門家の資料の内容にも踏み込んでいない。建屋撤去に至るまでの判断材料として、「内諾」の有無は重要だと思いが、専門家、町会関係者等が内諾を知らず、現・元市議会議員達の「内諾を知らなかった」という署名もある。しかし、建屋撤去に至った平成29年より以前の、平成24年5月29日に八

3番 大島 愛音

A 潮市文化財保護担当課職員から県文化財職員に送った資料には、「旧潮止揚水機場は以前平成13年に一度国の登録文化財として申請してよとの文化庁の内諾を得ております」とある。この時点で市は「内諾」を当時の専門家や町会関係者、市議会議員達に表明しなければならなかったと思うが、お考えを伺う。

A 司法の判決に関連するところなので、判決を尊重する立場から答弁は差し控えてさせていただきます。

気候不安(エコ不安)対策について

Q 気候変動による環境破壊に対して恐れを抱く気候不安。眠れない、涙が溢れる、怒りを覚える等の症状が現れることもあり、WHOもメンタルヘルスへの深刻な影響を問題視しています。電通総研の調査では、日本のZ世代の約73%が気候変動による「不安」を感じ、約49%が「私の日常生活にネガティブな影響を与えている」と回答するなど、日本でも気候不安の広がりが確認されました。そこで、本市として今後検討すべき気候不安対策について伺います。

7番 荒川 貴洋

A 現時点では、基本的には精神的な不安等を抱える方への対応と同様と考えています。市では、「こころの健康講座」を開催し、知識の普及啓発を図るとともに、個別の相談に対しては、こころの健康相談や保健師による相談を行い、受診が必要な場合は受診勧奨を行います。今後、これら事業を継続するとともに、気候不安について新たな知見があった際には、適宜、対応してまいります。

一般質問から

防災・減災について

Q 内水（浸水）ハザードマップの作成について伺う。

A 内水ハザードマップとは、水路やポンプ場の排水能力を超える大雨が降った場合や、排水先となる中川や綾瀬川の水位が高くなり排水できなくなつた時に発生する内水はん濫により発生した内水浸水想定区域と避難場所等を表したマップです。本市では、平成25年の台風26号における道路冠水箇所について、職員のパトロールや町会・自治会ごとの調査による実績を踏まえ、八潮市内水（浸水）ハザードマップを作成し、市ホームページで公開しています。しかしながら、作成から9年経過しており、その間の台風や大雨の実績を考慮していないこと、特に今回の台風2号では、これまで影響がなかった箇所も道路冠水が発生するなどを考慮すると、内水ハザードマップの充実や更新の必要性は高いと考えています。そのため、市民の皆さんが浸水時の避難や日ごろの備えに適切に活用していただけるよう、内水ハザードマップの更新について検討を始めたかと考えています。

21番 朝田 和宏

新本庁舎の玄関看板について

Q 市役所名と同看板に、並べて、市民の代表者で構成される市議会名を表記することは二元代表制の明確な証となると考える。本市のご見解を伺う。

A 現在、最終盤を迎えている新庁舎建設工事においては、新庁舎の各入口付近に「八潮市役所」、「八潮市立保健センター」、「八潮市立休日診療所」などの「施設名称」を表示する計画である。本年5月に開庁した草加市役所新本庁舎入口付近に「草加市役所」と「草加市議会」の名称が並列で表示されている看板が

18番 福野 未知留

設置されている事例などは承知しているが、市議会名は施設名称ではなく、組織名称であることから、本市においては表示する予定はない。独立した組織である市議会名称を、議会エリア入口の壁に大きく表示する予定である。加えて、議会傍聴などで来庁された市民の皆様を戸惑わせることなく、議場エリアへ誘導できるように、庁内各所に案内を表示する予定である。

前立腺がん検診を特定健診に紐づけすることについて

Q 本市において、前立腺がん検診は50歳〜75歳まで5年間隔で受診することができますが、個別検診のため、特定健康診査の際に同時に受診するには、別途申し込みが必要になります。特定健康診査の項目に、前立腺がん検診を追加することについて伺います。

A 特定健康診査の実施者が異なることや、全ての委託医療機関で両方の検診を実施しているものではないこと、また、前立腺がん検診の対象が一部の年齢の方に限られることなどからいたしますと、特定健康診査

5番 二木 和枝

の項目に前立腺がん検診を追加することは難しい状況です。なお、前立腺がん検診は、特定健康診査を市内委託医療機関で受診される場合に、その予約の際に、前立腺がん検診を申し込むことで、同時に受診することが可能となっております。同時に受診できることについて、より分かりやすい周知を検討していきます。

大山市政10年の成長と課題について

Q 就任から10年が経過しました。これまでの取組と10年前との変化について伺います。

A 市長に就任した後、本市の課題や社会潮流の展望を見据えつつ市民の皆様から幅広いご意見をいただきながらまちづくりの全体像を示す第5次八潮市総合計画を策定しました。10年前の人口と比較すると8183人、9.7%増加いたしました。引き続き地域の活力を維持できるよう取組を進めていきます。（普通会計）歳入決算額は127億9198万1千円増加し約1.4倍になりました。

15番 篠原 亮太

歳出決算額も同様に約1.4倍になりましたが、人件費や公債費で縮減が図られたことにより義務的経費の割合は11.4ポイント減少し37.2%となりました。このように堅固な財政基盤を築きながら、歳出の硬直化の解消を図り、着実に事業を展開してきた10年間と捉えております。今後についても、様々な行政課題に対応しつつ健全で持続可能な財政運営に努めてまいります。

高齢者支援事業について

Q 本市のホームページの高齢者支援事業の中に、運転免許証を返納してシルバー・サポーター制度をご利用くださいとあります。

A ①県の事業であるこの制度ですが、市内で登録されている業者は何件ありますか。②本市独自に何か取り組むお考えがあればお聞かせください。

11番 川井 貴志

②現時点で、市独自の取り組みは考えておりませんが、免許証を返納した高齢者の日常生活の利便性向上を目指し、先進的な自治体の取り組み事例を調査研究していきます。



中学校の校則について

Q 八潮市立中学校の校則について、時代にそぐわないものなどが見受けられます。そこで現状を踏まえた取り組み、生徒の意見を反映させることについて伺います。

A 現状を踏まえた取り組みについては、現在、学校や地域の状況、社会の変化等を踏まえ、その意義を適切に説明できないような校則については、改めて学校の教育目的に照らし、絶えず見直しを行うことが求められています。市内中学校については、ここ数年で、すべての中学校において、その見直

1番 内田 亜希子

しが行われています。一例を申し上げますと、ある中学校では、運動靴や靴下は、白が基調あるいは白のみと限定していたのですが、黒やグレーも可とした例があります。生徒の意見を反映させることについては、生徒会活動において、確認したり、議論したりする機会を設けています。また、学校評価を活用して、保護者や地域の意見も反映させる等、学校全体として校則を含む様々な教育活動の充実・改善を行っています。

一般質問から

市民の憩いの場、 交流の場である公園等について

Q やしお駅前公園は八潮の公園入口石段付近がロープ等ではりめぐらされていて放置されています。目立つ大切な場所をきれいにし、八潮市の魅力をアップすることが大切です。そこで、石製のプランターを配置することはできないのか伺います。

A 景観の悪化について市民の方々からのご指摘も受けています。防犯カメラの増設や警備員によるパトロール等の新たな対策を実施したことにより、騒音やベンチ・階段等の破損の

抑止効果も少しずつ現れています。景観等の改善に向けて、パレードやロープの段階的な撤去に併せ、さらなるプランターの設置及び草花の植栽等を検討していきます。

6番 小倉 聖彦



子どもまんなか 応援サポーターについて

Q 政府は、令和5年4月に「子ども家庭庁」を発足し、子どもが健やかで幸せに成長できる社会の実現を目指す「子どもまんなか宣言」を行いました。現在、この取り組みを応援する「子どもまんなか応援サポーター」を宣言する地方自治体が増えています。本市では、本年4月に「子ども家庭部」が発足し、令和6年1月供用開始の新庁舎には保健センターが併設されるなど、庁内連携が一層円滑になることが想定されますが、「子どもまんなか応援サポーター」へのお考えについて伺います。

A 本市は、現在、保育所の整備、妊産婦から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援や、子育て親子がやしお市民まつりに参加しやすい環境を整備するなど、「子どもまんなか応援サポーター」と同様の取り組みをしています。「子どもまんなか応援サポーター宣言」については、令和6年1月の新庁舎オープンに合わせて宣言を行うなど、本市のPRに繋がるような取り組みを検討したいと考えています。

8番 前原 鮎美

仮称八潮市犯罪被害者支援条例の 早期制定について

Q 今年7月現在、県内63市町村のうち35自治体が条例化済みで、今年度中には更に増える見込みです。これまで一貫して条例の必要性を認めている八潮市ですが、改めていつ頃制定する予定かお聞きします。

A 犯罪被害者やその家族の権利及び利益を守るため、条例のみを先行して制定するのではなく、相談事務に対応できる人材育成や、他部署間との連携、相談スペースの確保など、総合的な体制整備が必要と認識しています。

前回の質問後、これらの課題については、先進自治体へのヒアリングや埼玉県等の研修会への参加、近隣自治体と情報交換を行ってきました。また、新庁舎には他部署との共有ではありませんが常設の相談室があり活用は可能です。

犯罪被害者の支援が必要であることは十分認識しておりますので、条例の制定時期については今の時点で明言できませんが、相談があった際は埼玉県等と連携し、対応が可能なものは順次取り組んでいきます。

9番 矢澤 江美子

物価高対策について

Q エネルギー価格や食料品など生活に直結する物価高傾向が収まりを見せない中、家計への影響が深刻化しており、政府や自治体に対して電気・ガス代などの価格抑制策や家計支援策が求められている。本市でも独自の支援策を講じる必要があると考えるが、本市の対応を伺いたい。

A 本市では、国から示された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の追加額を活用し、低所得世帯向けの「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援交付金」や、0歳から18歳までの児童のいる子育て世帯に対し所得制限を設けない市独自の給付金としての「八潮市物価高騰対策子育て支援臨時特別給付金」、学校給食費の食材が高騰する中で保護者負担を増額することのないよう「学校給食費食材価格高騰対策補助金」などの事業を実施しています。

まずは、これらの事業を的確に実施し、その状況の把握に努めるとともに、今後の経済情勢や国の動向を注視しながら、新たな支援策の必要性等について検討していきます。

20番 岡部 一正

学校給食ビジョンについて

Q 令和5年第2回定例会において「学校給食審議会答申6項に基づく提供体制を明記した学校給食ビジョン策定を求めた決議」が全会一致で採択されました。この決議を最終報告にどのように反映するのか、また最終報告の時期と日程について伺います。

A 学校給食ビジョンについては、中間報告公表後、本編(案)の策定に向けて検討を重ね準備を進めてきました。令和5年第2回八潮市議会定例会にて決議が可決されたところで、これまでの検討内容に加え、決議の内容を踏まえて、中間報告

では、「公設センター方式(1カ所)」としていたが、リスク分散の観点等から本編(案)では「公設センター」で「複数の共同調理場の設置」を目指すことといたしました。学校給食ビジョン(案)については、教育委員会定例会で報告し市議会議員に説明をしたところです。

今後は、10月にパブリックコメントを行う予定です。その後、総合教育会議や教育委員会定例会を経て3月中を目途に市ホームページ等で周知していきたいと考えています。

2番 小宮 弘子

●第4回定例会(12月)の日程(案)●

12月1日(金)	本会議 開会、開議、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案の上程及び提案理由の説明など
11日(月)	本会議 総括質疑(議案に対する質疑)、議案の委員会付託
12日(火)	総務文教常任委員会
13日(水)	建設水道常任委員会
14日(木)	福祉環境常任委員会
15日(金)	本会議(一般質問)
18日(月)	本会議(一般質問)
19日(火)	本会議(一般質問)
20日(水)	本会議 委員会報告、質疑、討論、採決など、閉会

※この定例会日程は予定ですので、変更する場合があります。

請願

請願名

「介護報酬のプラス改定を求める意見書」を国に提出することを求める請願

【請願趣旨】

介護事業所では、深刻な人手不足と低い介護報酬のもとでの経営難が続いています。昨今の物価高騰や光熱費の高騰の影響も非常に大きく、公定価格である介護報酬により成り立つ介護事業所は、価格転嫁ができないため、厳しい状況に拍車がかかっています。2022年の東京商工リサーチのデータでは、介護事業者の倒産件数は過去最高の143件となっています。

また、「介護職員等特定処遇改善加算」や「介護職員等ベースアップ等支援加算」などの介護従事者への処遇改善の制度が開始されても、一般産業平均給与との差を埋めるには至っていません。一方で、一般産業が賃上げを行う情勢の中、介護従事者の賃金はほとんど上がらず、それがますます人材確保も難しい状況につながっています。

介護事業者の倒産、介護従事者の賃金が上がらない、人材不足が解消できない、という状況が続けば、介護を必要とする利用者には介護サービスを提供することができない「介護崩壊」につながる可能性も高まります。介護事業者が安定して経営を継続し、介護従事者の賃金を引き上げ、人材不足を解消し、利用者への安全・安心の介護サービス

の提供を実現するためには、2024年度の介護保険制度改定において、介護報酬のプラス改定が必要であることから、請願致します。

【請願事項】

2024年4月の介護報酬改定において、利用者が安全・安心の介護を受けるために、介護事業所の経営の安定性確保と介護従事者への十分な賃上げを行うことのできる介護報酬のプラス改定を求める意見書を国に提出してください。

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

提出日 2023年8月29日

請願者

社会福祉法人すこやか福祉会
東京民医連労働組合健和会支部
(代表者)

東京民医連労働組合健和会支部
書記長 小貫 駿

住所 三郷市鷹野4丁目

なお、同請願について、福祉環境常任委員会が審査し、採択すべきものと決し、同委員会から「介護報酬のプラス改定を求める意見書」を提出し、可決されました。

用語 請願とは

請願は、市民の皆さんが市政などについて直接、市議会に要望できる制度です。受理した請願はまず、本会議に上程し、委員会で詳しく審査します。次に本会議で採択するかどうかなどの結論を出します。

意見書

定例会において、5件の意見書を原案のとおり可決しました。

オウム真理教(アレフ)に対する観察処分期間の更新等を求める意見書

オウム真理教は、地下鉄サリン事件をはじめとする数多くの凶悪な犯罪を実行した団体であり、社会に大きな脅威と不安を与えてきた。現在も団体名称は変更しているが、依然として危険な教義を保持しつつ、勧誘活動を全国で活発化させており、地域住民は大きな不安を抱きながら日々の生活を送っている。このような危険な団体の活動を規制するため、「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」が制定され、当該団体に對し、3年を超えない期間を定めて、公安調査庁長官の觀察に付する処分を行うことができることとされている。

オウム真理教に対する同法に基づく観察処分期間はこれまで7回更新されてきたが、令和6年1月にその期間が満了するため、多くの住民は、不安を抱き、再度、期間の更新を望んでいる。

また、八潮市は、オウム真理教の活動拠点と信者の立ち退きを求め、地域住民と共に、八潮市オウム真理教対策協議会主催による抗議行動を令和元年まで実施し、令和2年から令和4年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から抗議文を八潮市オウム真理教対策協議会事

議会人事・構成

■草加八潮消防組合議会議員の変更

9月21日付けで、草加八潮消防組合議会議員の寺原一行議員が辞職したため、新たに福野未知留議員が選任されました。

■東埼玉資源環境組合議会議員の変更

9月21日付けで、東埼玉資源環境組合議会議員の寺原一行議員が辞職したため、新たに福野未知留議員が選任されました。

■議席の変更

9月21日付けで、寺原一行議員が4番議席から18番議席へ、福野未知留議員が18番議席から4番議席へ変更となりました。

議案

■議案第99号 人権擁護委員の推薦について

人権擁護委員の職に欠員が生じたため、後任の人権擁護委員に、秋山 隆氏(あきやまたかし、大字二丁目)の推薦について同意しました。

委員会のうごき

総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定についての分割付託1議案、令和3年度八潮市一般会計補正予算(第5号)の分割付託1議案、その他5議案のあわせて7議案の審査を行いました。

令和4年度八潮市一般会計歳

入歳出決算の認定については、「市民大学の卒業生のその後の活躍状況について説明を」との質疑に對し、「一例として、子ども

の貧困問題を研究された方は、卒業後、子ども食堂を立ち上げ、今でも活動を続けており、市としてもフードパントリーを行い、支援をしている。また、農地の減少に伴う休耕地にひまわりの種をまいて笑顔溢れるまちにするためのひまわりプロジェクトを立ち上げた方や、孤立問題を研究された方は、災害発生時の孤立している方の避難にかかる孤立支援のあり方を実践している方がいる。他にも市の審議会の各種委員を務めていただき、多方面から市に対してご意見をいただいている」との答弁がありました。

議案の審査結果については、7議案すべて可決すべきものと決しました。

建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定についての分割付託1議案、令和5年度八潮市一般会計補正予算(第5号)の分割付託1議案、その他14議案のあわせて16議案の審査を行いました。

令和4年度八潮市水道事業決算の認定については、「給水車を2台所有しているが、大規模災害の発生により水道が止まった時に2台体制で市内を賄えるのか」との質疑に對し、「必要とされる給水車の台数は災害の

委員会のうごき

7面から 続く

規模によって変わってきます。2台体制で対応できる場合もありますが、どうしても2台では足りない場合については、全国の水道事業者が参加する、日本水道協会という団体において相互支援の体制が整えられていますので、そちらに支援をお願いするというようになります。また、自衛隊や国土交通省においても災害に備えた支援体制が整えられていますので、必要となった際にはそちらにも速やかに支援を求めるとして、対応していきたいと考えています」との答弁がありました。

福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定については、令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定については、令和5年度八潮市一般会計補正予算(第5号)の分割付託1議案、その他7議案のあわせて9議案の審査を行いました。

令和4年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定については、「自転車用ヘルメット購入費補助金について、努力義務化になった時より、申請が右肩下がりになっているような状況にあるか、教えてください」との質疑に対し、「年度が替わり、努力義務化された後かなりの申請をいただいています。そのあと徐々に減少傾向にありますが、啓発活動を通じ、市民に周知をしていき

たい」との答弁がありました。

次に、令和4年度八潮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、意見として「議案第79号令和4年度八潮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について反対の立場で討論いたします。後期高齢者医療制度に国民健康保険制度から移行される方が、毎年増加しています。多くの高齢者の収入は年金のみです。年金収入は、大きく増加したりしません。コロナ禍とウクライナとロシアの戦争などの影響で、物価高騰が止まりません。加えて令和4年10月からは、医療費の負担増となり高齢者の暮らしは一層厳しさを増しています。このような状況のなか、高齢者が安心して医療にかかれない令和4年度八潮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について反対します。」との発言がありました。

また、令和4年度八潮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、意見として「議案第72号令和4年度八潮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について反対の立場で討論いたします。平成30年度から国保の広域化、都道府県化が始まり、令和4年度で4年となりました。赤字解消と国保税の標準化が広域化の主な理由です。令和4年度は財源不足を理由に値上げが行われました。八潮市の国保税は、県下では高い水準で推移していましたが、さらにそれを値上げしないと支払えない納付金にこそ

問題があると思われる。

国民健康保険の、加入者は自営業者、年金生活者、学生など低所得者が大半を占めています。新型コロナウイルス感染症の繰り返し、感染の拡大が、市民の暮らし、営業を直撃してきました。この厳しい生活のなかでも、多くの市民は、まじめに保険税を納めています。それは、国民健康保険は市民の命と健康を守る命綱だからです。全国知事会は、国保の構造的問題の解決のためには、1兆円の公費投入が必要だと国に対して要望しています。こうした改善の方向にこそ国保の安定的な運営が保障されるのではないのでしょうか。誰もが安心して使える制度にすることが求められます。

よって、令和4年度八潮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について反対します。」との発言がありました。

議案の審査結果については、9議案すべて可決すべきものと決しました。

また、請願第3号「介護報酬のプラス改定を求める意見書」を国に提出することを求める請願の審査を行いました。会議に諮ったところ、採択すべきものと決しました。

公共施設整備等調査特別委員会

9月1日、第3回本委員会を開催し、「文化スポーツセンターの代替機能確保に向けた施設整備の検討について」執行部より説明を受け質疑等を行いました。

常任委員会委員等の新構成

(令和5年9月21日現在、議席番号順)

常任委員会名	委員長	副委員長	委員			
総務文教 常任委員会	篠原 亮太	川井 貴志	小倉 聖彦	荒川 貴洋		
			矢澤 江美子	池谷 正		
			鈴木 貞夫			
建設水道 常任委員会	鹿野 泰司	二木 和枝	福野 未知留	林 雄一		
			寺原 一行	前田 貞子		
			朝田 和宏			
福祉環境 常任委員会	大泉 芳行	前原 鮎美	内田 亜希子	小宮 弘子		
			大島 愛音	金子 壮一		
			岡部 一正			
議会運営委員会	岡部 一正	朝田 和宏	内田 亜希子	大泉 芳行		
			鈴木 貞夫	篠原 亮太		
			鹿野 泰司			

■公共施設整備等調査特別委員会の正副委員長の変更
9月21日付けで、委員長が篠原亮太議員から朝田和宏議員、副委員長が福野未知留議員から内田亜希子議員に変更となりました。

議会報編集委員会

令和5年9月21日から新しい委員構成となりました。

委員長 鈴木 貞夫
副委員長 荒川 貴洋
委員 内田亜希子
小宮 弘子
大島 愛音
福野未知留
前原 鮎美
前田 貞子

議会報編集委員会 委員長就任のあいさつ

令和5年9月21日に、委員長に就任いたしました。

市民の皆様は、議会を身近に思っていただけのような、読みやすい「議会だより」を作ってまいりたいと思っております。よろしく願っております。

(鈴木 貞夫)

市民のうごき

令和5年(2023年)10月1日現在
前月比

- 人口 … 92,846人 (- 38)
- 男 … 48,177人 (- 36)
- 女 … 44,669人 (- 2)
- 世帯 … 45,908世帯(+ 21)